

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	062									
事務事業名	交通安全施設管理経費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	02	項	01	目	11	事業	02
担当部	産業振興部	担当課	生活環境課		担当係	交通・防犯係		係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略					<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)					根拠法令及び市条例等		<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市安全安心まちづくり条例, 常総市防犯灯の設置及び管理に関する要綱)							

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどのようなか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。									
現状課題	市民が安全・安心して生活できるために、交通環境の整備を継続的に行っているが、道路改良事業とともに交通安全施設を整備しなければならない危険箇所は、現在でも市内に相当数あり、また、老朽化している施設も相当数あるため、今後も計画的に整備していく必要がある。					誰・何を対象に	市民及び道路利用者					望ましい状態	カーブミラー、防犯灯、デリネーター(反射器)、ガードレール、グリーンライン等の交通安全施設等について、設置及び撤去など、自治区長等からの要望の中から、工事が可能なもので、至急対応が必要な案件について、優先的に対応していく。また、常総市通学路安全点検プログラムに基づき、順次、危険箇所について、計画的に整備を行っていく。老朽化した交通安全施設の再整備。						
	どのような方法・手順で	市民からの要望箇所や通学路合同点検による危険箇所等、優先順位の高いものから順に整備した。																	

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	交通事故件数		単位	件	目標値	150	目標年次	2021	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	効果的かつ効率的な安全対策を図ることが、交通事故を減少させる一因と考える。									

4 事務事業の実績 ①										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。									
年度	平成28年度					平成29年度					平成30年度								
	業務名					業務名					業務名								
事務事業を構成する主な業務	① 回転灯修繕	23件				① 回転灯修繕	14件				① カーブミラー設置・修繕	58件							
	② 防犯灯移設等	2件				② カーブミラー修繕	9件				② 防犯灯設置・移設等	57件							
	③ 防護柵設置	13件				③ 防犯灯移設等	4件				③ 注意喚起看板設置	21件							
	④ カーブミラー	2件				④ 区画線設置	8件				④ 赤色回転灯設置・修繕	21件							
	⑤ 防犯灯設置	13件				⑤ カーブミラー設置	23件				⑤ 区画線等設置・修繕	13件							
	⑥ 区画線設置	33件				⑥ 防犯灯設置	7件				⑥ ポストコーン設置・修繕	3件							
	⑦ 回転灯設置	12件				⑦ 回転灯設置	1件				⑦ ガードレール設置・修繕	2件							
	⑧ 防犯カメラ設置	7件				⑧ 防護柵設置	5件				⑧ その他安全施設	14件							
	⑨ その他安全施設	12件				⑨ その他安全施設	7件				⑨								
	⑩					⑩					⑩								
	⑪					⑪					⑪								
	⑫					⑫					⑫								
目標値に対する実績値		190 件			目標値に対する実績値		203 件			目標値に対する実績値		173 件							
決算額	計	32,127,076 円	内訳	特定財源	8,747,000 円	計	28,116,246 円	内訳	特定財源	7,636,000 円	計	35,369,971 円	内訳	特定財源	6,765,000 円				
				一般財源	23,380,076 円				一般財源	20,480,246 円				一般財源	28,604,971 円				
(住民一人あたりの行政コスト)		528 円			(住民一人あたりの行政コスト)		465 円			(住民一人あたりの行政コスト)		590 円							

5 担当者評価 ③										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標未達成	目標未達成ではあるが、8月補正予算で5,000千円の増額となり、交通安全施設の整備が進んだため、交通事故件数170件の目標に対し、H30年の事故件数173件と目標値に近づけることができた。																	
	成果内容																		
問題点	交通安全施設整備については、市民等から例年多くの要望があり、多数の未整備案件を抱えている。また老朽化した交通安全施設の再整備も必要となり、現予算の範囲では、すべての要望、案件には対応できない状況である。危険性等を考慮しながら整備していく。																		

6 担当部長及び担当課長評価 ④										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由										2018年度、交通事故件数は減少したが、交通安全施設管理は市民の生活基盤である安全安心を確保するため必要不可欠な事業であるとともに、緊急性のある案件が多いため、今後も引き続き交通安全対策を推進していく。									

7 実施計画 ⑤										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。											
年度	令和元年度					令和2年度					令和3年度										
事業内容	各自治区、地域団体及び学校から、カーブミラー、防犯灯、ガードレール等の交通安全施設の要望があった場合、緊急性の高いものが順次計画的に整備を進めていく。子供や高齢者が安心して外出できる地域社会の形成を目指すとともに、交通安全対策に対する市民満足度を向上させるために、交通安全施設整備を推進する。現状では、交通安全施設の要望はいずれも必要な案件であるが、予算不足のため、次年度に持ち越しとなっている状況である。また、交通安全施設の老朽化も懸念されるため、今後は事業費を拡充し対応していく必要がある。					各自治区、地域団体及び学校から、カーブミラー、防犯灯、ガードレール等の交通安全施設の要望があった場合、緊急性の高いものが順次計画的に整備を進めていく。子供や高齢者が安心して外出できる地域社会の形成を目指すとともに、交通安全対策に対する市民満足度を向上させるために、交通安全施設整備を推進する。特に通学路等の安全確保については、関係各課と危険箇所の洗い出しを行い最優先に推進していく必要がある。現状では、交通安全施設の要望はいずれも必要な案件であるが、予算不足のため、次年度に持ち越しとなっている状況である。また、交通安全施設の老朽化も懸念されるため、諸工事費を増額させる。					各自治区、地域団体及び学校から、カーブミラー、防犯灯、ガードレール等の交通安全施設の要望があった場合、緊急性の高いものが順次計画的に整備を進めていく。子供や高齢者が安心して外出できる地域社会の形成を目指すとともに、交通安全対策に対する市民満足度を向上させるために、交通安全施設整備を推進する。特に通学路等の安全確保については、関係各課と危険箇所の洗い出しを行い最優先に推進していく必要がある。現状では、交通安全施設の要望はいずれも必要な案件であるが、予算不足のため、次年度に持ち越しとなっている状況である。また、交通安全施設の老朽化も懸念されるため、今後は事業費を拡充し対応していく必要がある。市民等からの要望に迅速に応え、次年度に工事を持ち越さないためには、さらに諸工事費を増額する必要がある。										
	※下記予算額は2019年度当初予算額を記載。年度内で予算補正の可能性あり。					※下記予算額は年間予算で記載。増加分は諸工事費、防犯灯及び道路照明の増設の光熱水費の増加を想定。また事故発生件数の減少により交付金も減少することを想定。					※下記予算額は年間予算で記載。増加分は諸工事費、防犯灯及び道路照明の増設の光熱水費の増加を想定。また、事故発生件数の減少により交付金も減少することを想定。										
成果指標	指標名	交通事故件数	単位	件	目標値	170	指標名	交通事故件数	単位	件	目標値	160	指標名	交通事故件数	単位	件	目標値	150			
予算額	歳出	計	29,359 千円				歳出	計	29,728 千円				歳出	計	32,100 千円						
			特定財源	8,000 千円						特定財源	7,000 千円						特定財源	6,300 千円			
	歳入	一般財源	21,359 千円				歳入	一般財源	22,728 千円				歳入	一般財源	25,800 千円						
		計	29,359 千円					計	29,728 千円					計	32,100 千円						

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。市民の安全安心を確保するためには、的確な交通安全対策を講じる必要がある。具体的には、学校付近の道路の大部分は生活道路と一緒であり、通行に危険を感じている。そのため、市民のマナー向上の啓発や、通学路の標示、防犯カメラの設置を進めて欲しい。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑥																			
事務事業の方向性										<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由										高齢者の事故も多くなっており、要望は年々増加している。安全安心を確保するうえで必要不可欠であり、今後も必要性や危険度など精査したうえで、推進していく必要がある。									

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ⑦										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容										高齢者の事故が年々増加傾向にあることや、子供が巻き込まれ事故が多発していることから市民の安全安心を確保するため、危険度の高い箇所及び、通学路の危険箇所を最優先に、より一層の交通安全施設の充実を図る必要がある。また、交通安全施設の老朽化しており台風等の自然災害により相当数の破損も確認されていることから今後も計画的に整備していく必要がある。									